

平成26年度

創立35年



安積三小 学校だより

三しょうの丘 No.8

(承認 賞賛 奨励)

平成26年 9月17日

安積第三小学校

語りかける言葉の
ひとつひとつは
時をかけて
人の心に届いていく
今は
それを受けとめる
いれものがないけれど
時が それを用意する
その「時」を信じて
私たちは語りかける
結果がすぐに出ないからこそ
私たちが
語り続ける意味がある
語りかけることばの
ひとつひとつが
重みをもってくる

「つながり」と「安心」を求めて

学校の主人公は子ども達です。学校運営は、学級から学年、全校へと視野を広げ、子ども達の成長につながる目標を設定し、実現を目指します。全校の子ども達を見つめていくためには、学年から学級、そして、ひとりひとりの子ども達をしっかりと見つめなければなりません。

放課後の校内を回っていると、昇降口に座っていたり、教室で勉強していたり、犬走りですわらぶをしていたりする子ども達があります。そっとそばに寄り添います。何もいう必要はありません。子ども達の気持ちがこちらを向いてくれれば、子ども達から話しかけてきます。「うんうん」とうなずくだけで距離は縮まっていきます。校長との関係は、子ども達にとっては非日常なものであり、日頃から軽口を言い合えるような関係づくりも必要になります。こんな機会が増し、それが積み重なっていけば、子ども達から素直に思いを明かしてくれるチャンスも生まれてきます。

県リレーカーニバル

14日(日)、田村市陸上競技場において県リレーカーニバルが開催されました。本校からは、6年生が400mリレーと走り幅跳びに参加しました。それぞれの種目に、これまでの練習の成果を発揮しようと一生懸命努力している子ども達の姿は、学校の代表として全校生の見本ともなり大変立派でした。

6年菊地涼太君が走り幅跳びで4m11を跳び、県で8位となりました。また、男子リレーは組で1位。あと0.5秒速ければ決勝にいけたのですが…。

その他、参加した多くの子ども達がこれまでの自己新記録を更新することができました。子ども達の粘りとガッツに対して心から拍手をおくります。

当日、テントの撤去並びに応援にかけつけてくださった保護者の皆様、ご協力本当にありがとうございました。



交通安全街頭指導、いつもありがとうございます

仕事に出かけられる前の朝のお忙しい時間に、各地区で交通指導にあたられています母の会の皆様、保護者の皆様、本当にありがとうございます。おかげさまで、大きな事故もなく元気に子ども達は学校生活を送っています。今後も道路での遊びや危険な行動などを見かけられた際には、遠慮なくその場で注意していただくようお願いします。また、その際学校にもご一報いただければ、すぐに指導をします。

学校・家庭・地域が三位一体となって子ども達の安全な生活を見守っていきたいと思いますのでよろしくをお願いします。